

事前評価報告書

総合理工学研究機構運営・評価委員会 平成28年10月19日(水)

研究課題	宝飾品における三次元データのデフォルメに関する研究	
研究期間	平成29年度～31年度	
	評価項目	平均点
1	研究の必要性	3.6
2	研究内容の妥当性	3.2
3	研究内容の新規性、独創性	3.8
4	研究資源の妥当性	3.4
5	目的達成の可能性	3.0
6	期待される研究成果	3.8
	総合評点	3.5
<p>先行研究のない独創的な研究である。デフォルメに注目して3Dの方法論を研究する価値は高い。山梨県の地場産業の宝飾関係のニーズが見込まれる。本研究はリアルに縮小再現することを目的としたデフォルメのガイドラインを作成するもので、汎用性が見込める。総研研粋の研究成果である「山梨デザインアーカイブ」の活用につながる。また、研究成果を県内で優先的に使用できるように仕組みが必要と思われる。</p>		